

無鉛レギュラー
ガソリン

25

2ストローク用
オイル左記以外や25:1～50:1
のような幅を持たせた
混合燃料使用不可

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



安全上の注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は「死亡または重症を
負う恐れがある」内容です。



この表示の欄は、「軽症、物的損害、故
障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」
内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく
「強制」内容です。

!警告 (製品に係る安全事項)



エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

禁止

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっていますので触れないでください。

改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。



ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。

強制

騒音から耳を守るため、適切な保護具を使用してください。

燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。

始動前点検を実施してください。

!注意 (製品に係る安全事項)



指定された用途以外には使用しないでください。

禁止



燃料は混合燃料を使ってください。

強制

長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。

部品交換は、純正部品を使用してください。

運転時は必ずタンクに、薬剤または清水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷めることができます。

⚠警告 (作業に係る安全事項)

禁止	身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。	強制	本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	ご使用時は、子供、動物、ペットを近づけないようご注意ください。		使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジの緩みや欠落した部品などがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		やけど、火災の恐れがありますので強酸性の薬剤・シンナー・ガソリン・ベンジン等は絶対に使用しないでください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		気温が高いときの作業は避けてください。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		薬剤の使用にあたっては、薬剤の説明書に従ってください。
強制	突然の噴霧を防ぐため、エンジン始動時は、レバーコックを閉じた状態にして行ってください。		薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。また、タンクに薬剤を入れるときは、必ず備え付けのタンクストレーナ（こし網）を通してください。
	充填時にこぼれた薬剤をその場できれいに拭き取ってください。		噴霧作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。
	薬剤タンクキャップは、薬剤が漏れないように、しっかり締めてください。		使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、清水を入れポンプを数分間（2～3分）運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。

⚠注意 (作業に係る安全事項)

禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。	強制	薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。

各部の名称



梱包部品一覧

- ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

A. 本体	B. 薬剤タンクキャップ	C. タンクストレーナ	D. 噴霧ホース
			
H. ストレートノズル		I. 三頭口ノズル	
			
J. 噴霧管（延長ノズル）	K. パッキン予備★	L. 異径金具	
			
O. 混合タンク	M. 薬剤計量カップ★	N. 工具★	P. プラグレンチ
			

★印はサービス品です。予告なく同梱終了になる場合があります。ご了承ください。

※上記写真はプロトタイプのため、製品仕様と異なる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

■ご用意いただくもの

混合燃料を作る場合に必要なもの

- 無鉛レギュラーガソリン
- 2ストローク用オイル (JASO FB または FC、FD 級以上)
- 漏斗 (じょうご)

グリップやアクセルレバーの取付けに必要なもの

- 8mm スパナ、12mm スパナ、14mm スパナまたはペンチやプライヤー

点検・整備に必要なもの

- ワイヤブラシ

主要諸元

モデル名	HG-2PS2615	HG-2PS2620	HG-2PS2625
エンジン	空冷 2ストローク		
エンジン出力	0.65kw/7000min ⁻¹		
燃料	混合燃料 (25 : 1)		
排気量	26cm ³		
噴霧力	最小噴霧力 1.5MPa 最大噴霧力 2.3MPa		
タンク容量	15L	20L	25L
燃料タンク容量	650mL		
燃費 (目安)	0.79L/h		
騒音レベル	101dB		

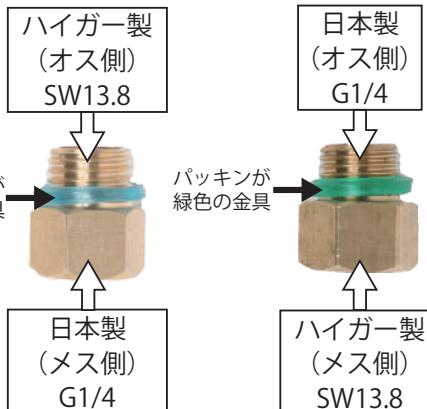
重量	約 8.9kg (※タンクが空の状態)	約 8.9kg (※タンクが空の状態)	約 9.1kg (※タンクが空の状態)
サイズ (幅×奥行×高さ)	380 × 370 × 630mm	440 × 360 × 590mm	450 × 390 × 590mm

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

土台の取付け

日本製のホースやノズルとハイガー製のホースやノズルを繋ぐための噴霧器用のネジです。本製品以外のホースやノズルを接続する場合にお使いください。



ストレートノズルとグリップの接続

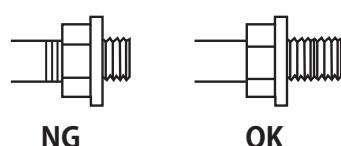
■使用工具

12mm スパナ・14mm スパナ（機種により異なります。）またはペンチ

- ノズルのナットを指で止まるところまで回します。



※ナットの形状は製造時期により変更になる場合があります。

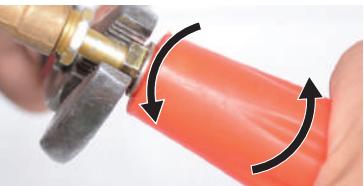


- ノズルにグリップを取り付けます。

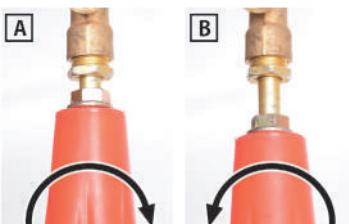
- グリップを矢印の方向に止まるまで回し、固定します。



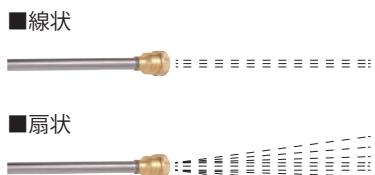
- グリップを握り固定させ、ノズルのナットをスパナやペンチ等で締付ければ完了です。



5 グリップが回るか確認します。



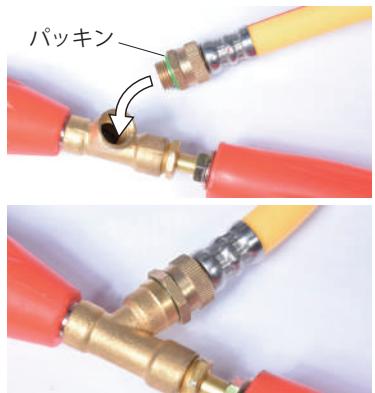
グリップをA方向に回す・・・噴霧が止まる。
B方向に回す・・・噴霧ができる。
B方向に止まるまで回す・・・線状の噴霧になる。さらにその状態からA方向に回すと扇状の噴霧になる。



ストレートノズルに噴霧ホースを接続

1 噴霧ホース先端にパッキンが付いていることを確認します。

2 噴霧ホース先端をノズルの取付口に入れ締付けます。



ハンドルコックとグリップの接続

1 グリップにパッキンが付いていることを確認してから、ハンドルコックとグリップを取付けます。



三頭口ノズルとハンドルコックの接続

1 コック先端にパッキンが付いていることを確認します。

2 三頭口ノズルを取付けます。



噴霧管（延長ノズル）の接続

1 噴霧管（延長ノズル）にパッキンが付いていることを確認します。



2 噴霧管（延長ノズル）は三頭口ノズルとハンドルコックの間に取付けます。



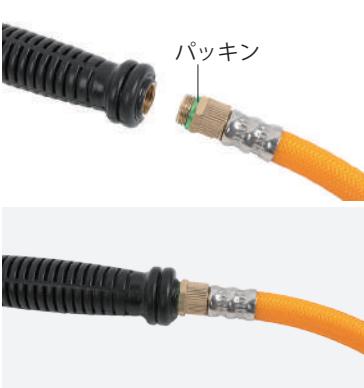
⚠ 注意

噴霧管（延長ノズル）を取付けた場合は、振り回さないでください。曲がりや破損の原因になります。

ハンドルコック用グリップに噴霧ホースを接続

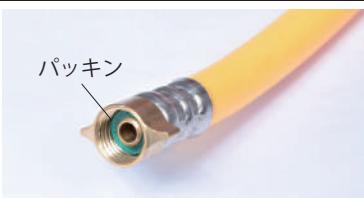
1 噴霧ホース先端にパッキンが付いていることを確認します。

2 噴霧ホース先端をハンドルコック用グリップの取付口に入れ、締付けます。



噴霧ホースを本体に接続

1 噴霧ホースにパッキンが付いていることを確認します。



2 噴霧ホースを本体ポンプの吐出口に挿込み、時計回りに回し、締付けます。



⚠ 注意

噴霧ホース先端を吐出口に挿込むときに、工具等で締付けしすぎると破損する恐れがあります。無理に締付けしすぎないようご注意ください。

アクセルレバーの取付け

■ 使用工具

六角レンチ、8mm スパナ

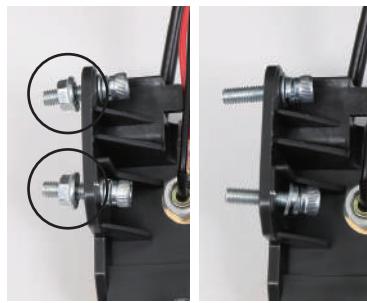
- 1** 仮留めしているナットを一旦外します。

※まれに輸送時の振動等により外れている場合があります。その場合は、梱包箱内に落ちていないかご確認ください。

- 2** 取付穴に六角ボルトを挿込みます。

- 3** 穴から出てきた六角ボルトにナットを取付け、指で回るところまで入れます。

- 4** 付属の六角レンチで六角ボルトを固定しながら、ナット部分を8mmのスパナで時計回りで締付けます。



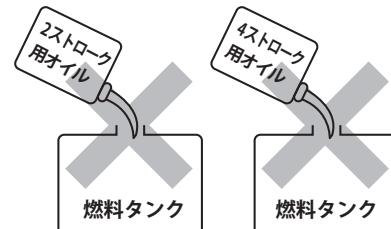
運転前の点検

⚠ 警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

⚠ 注意

- ・燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに、4ストローク用オイル、チェンオイルを入れないでください。



混合燃料 25:1 の作り方

市販の 25:1 ~ 50:1 というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。
エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1** • 無鉛レギュラーガソリン

• 2ストローク用オイル JASO FB または FC、FDを準備します。

- 2** 500ml の無鉛レギュラーガソリンを入れる場合は規定量①(500 の目盛り)まで入れます。



3 ストローク用オイルを②(25:1 の目盛り)まで入れると20ml 入ります。キャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハনします。

4 B 混合タンクの場合は B 混合タンク

左に2ストローク用オイル、右にガソリンを入れ、オイルを"5"の位置まで入れた場合、ガソリンも"5"まで入れキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハনします。



25:1 ガソリ オイル割合 早見表	ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
100ml	4ml	400ml	16ml	
200ml	8ml	500ml	20ml	
300ml	12ml	600ml	24ml	

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

■燃料の給油

1 混合燃料(25:1)を準備します。

2 燃料タンクキャップを開けます。



3 混合燃料(25:1)を、少しづつこぼさないよう漏斗(じょうご)等を使い給油します。

4 給油が終わったら燃料タンクキャップをしっかり締めます。

薬剤タンク、タンクストレーナ(こし網)の点検

薬剤タンク内の汚れおよびタンクストレーナ(こし網)の汚れ、破損を点検します。

1 薬剤タンクキャップを取り外します。



2 タンクストレーナ(こし網)が汚れている場合は、清水で洗浄してください。

3 薬剤タンク内に薬液が残っていたり、汚れがあった場合は、清水で洗浄してください。

⚠警告

- ・薬剤は、必ず薬剤の取扱説明書に従ってください。
- ・前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。薬剤が混ざると、化学変化を起こして有毒ガスが発生する恐れがあります。
- ・薬剤タンクに薬剤を入れるときは、必ず備え付けのタンクストレーナ(こし網)を通してください。
- ・ベンジンやガソリンなど可燃性の液体や溶剤、園芸薬剤以外や、酸性及びアルカリ性の液体、油性薬剤、畜産用薬剤、ケルセン水和剤は絶対に使用しないでください。その他、上記のような成分を含んだ薬液も使用しないでください。

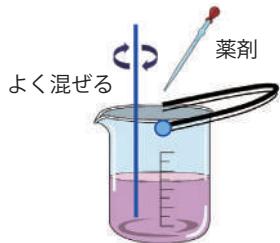
⚠注意

- ・薬剤は規定容量以上入れないでください。
- ・薬剤の取扱いは十分に注意し、体に付着した場合は、よく洗い流してください。

薬剤の調合

1 薬剤は、別の容器で調合します。

特に、水和剤はよく溶かしてください。十分溶けないと、噴霧器の寿命や性能に悪影響を及ぼします。



薬剤の充填

1 ドレンキャップが確実に閉まっていることを確認します。



2 薬剤タンクキャップを開いて、調合した薬剤を薬剤タンクに入れます。

その際、必ず備え付けのタンクストレーナ(こし網)を通してください。充填時にこぼれた薬剤は、その場できれいに拭取ってください。



3 薬剤タンクキャップをしっかり閉めます。

運転操作の仕方

⚠ 警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触るとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。



強制

- ・突然の噴霧を防ぐため、エンジン始動時は、ノズルレバーを閉じた状態にして行ってください。
- ・しっかり本体を保持してください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジン始動テスト

噴霧する前に清水を薬剤タンクに入れて、エンジン始動テストを行ってください。

- 1 噴霧ホースは、本体から取外します。



- 2 薬剤タンクに清水を2L程度入れます。



- 3 混合燃料を燃料タンクに入れます。

燃料の作り方は、運転前の点検「混合燃料25:1の作り方」参照。



- 4 プライマリーポンプを押します。

- 5 チョークレバーを上「閉」にします。

- 6 アクセルレバーをL側より少しH側(全体の1/4~1/2程度)の位置にします。



- 7 リコイルスターを正しく引きます。

- 8 初爆(ブルン!というかかりそうな音)が確認できたら、チョークレバーを下「開」にします。

- 9 再度、リコイルスターを引くとエンジンがかかります。

- 10 アクセルレバーをH側に全開にしたときに吐出口から清水が出ることを確認します。



※エンジンのかけ方等の以降についてはWEB取説をご覧ください。

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- 保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- 本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- 本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- （1）純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- （2）保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- （3）一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- （4）取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- （5）示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- （6）弊社が認めていない改造をされたもの
- （7）地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- （8）注意を怠った結果に起きたもの
- （9）薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受けた要因によるもの
- （10）使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- （11）機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- （12）弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- （13）使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スponジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干涉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、パルプ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリ、点火プラグ等）
- （14）保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- （15）商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺いし、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- 動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- 部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- 仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- 仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- 無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて ■ 1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガー オフィシャル 検索
<https://haige.jp/>